

令和2年度 福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議 議事録

- 1 日 時：令和2年8月20日（木）10：30～13：00
- 2 場 所：福岡市総合図書館 3階 第2会議室
- 3 出席者：委 員）上村篤子，岡野秀之，高橋昇，松原明子，宮本直嗣（計5人）
事務局）吉田総館長，青木事業管理部長，若山運営課長，宮川図書サービス課長，
小森文学・映像課長 他
傍聴人）1名

4 議事録

1. 開 会

委員紹介／事務局紹介／総館長挨拶

2. 新ビジョン事業計画の点検評価

(1) 令和元年度新ビジョン事業計画の取組状況及び内部評価についてのヒアリング

委 員	令和元年度新ビジョン事業計画の内部評価の前に，以前，新ビジョンの内部評価に対し，現場の嘱託職員や分館職員等から意見を集めているかとの質問に対し，より多くの職員の考え方が反映されるような評価の仕方を検討したいという回答だったが，その後どうしているのか。
事 務 局	後期事業計画の策定に当たっては，全職員に情報提供を行っており，図書館職員はこの事業計画を見て，今後の方向性，取組方針等を把握していると認識している。図書館は，新ビジョンに応じて施策を進めており，分館や本館の部門別の会議や面談等で提案された意見を取り上げながら，新ビジョンの評価に反映させている。
	【事業別の評価調書について】 <4 図書館イベントの充実>
委 員	昨年度については，新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮しながら，イベントの一部は中止せざるを得ない状況だったが，今後のことも含め，イベントの開催方法等，新型コロナウイルス感染症拡大防止対策はどのようにしているか。
事 務 局	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策には，やはり三密を避けることが最優先と考えている。昨年度まで行っていたエントランスホールでの演奏会等では，不特定多数の人が集まり，どうしても三密になるため，現在は，自由に参加できるようなイベントは中止しているところである。現在は，帰宅後に作れる工作キットを，人数を限定して配布するようなイベントを行っている。 子ども向けのおはなし会については，総合図書館では7月に1度，エントランスホールで人数制限しながらおはなし会を試験的に行ったところである。以前のように定期的に行うためには検討中だが，東図書館のような大きなスペースが確保できる図書館については，総合図書館の実績を活かして少しずつ始めているところである。動画配信という形式でおはなし会ができないかも検討しているが，機材や著作権などで課題があり，関係各所と相談しながら検討していく必要がある。
委 員	近くの公園等でおはなし会を開催できないのか。
事 務 局	総合図書館では，玄関のすぐ横に道路があり，子どもの飛び出しなどで事故の危険がないか等の課題がある。館によって状況が異なるため，様々なアイデアを出しながら，検討をしていきたい。ただし，現時点では，イベント開催よりは展示等による図書館サービスを提供していくのが先決と考えている。

委 員	おはなし会の開催方法として、参加人数を少なくする、または申込制にするのはいかがか。福岡おはなしの会では、リモートで読み聞かせをしたこともあるが、やはり、絵本の読み聞かせや語り等は、例え広い空間であっても生の声であるものであり、同じ空間を共有していないと伝わらないと思っている。動画配信等リモートで行う際は、本の紹介等ならばよいと思う。
事 務 局	試験的に行ったおはなし会でも、マスクをしているため言葉の伝わり方も違い、表情も見えづらく、遠くから大型絵本を見るという普段と異なった状況が可視化されたとの現場の意見があった。新型コロナウイルス感染症が落ち着くまでの期間、どのようなことができるのかを検討していきたい。
委 員	<3 利用時間の見直し> 利用者アンケートは1年以上前のものだが、開館時間および休館日について、10数パーセント以上不満との評価が数か所ある。内部評価では、「開館時間及び休館日の見直しの検討をしております」との記載があるが、どのような検討を行ったのか。
事 務 局	本来、休館日及び開館時間の利用者アンケートを毎年行っていたところであるが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、総合図書館が休館していたこともあり実施していないが、利用者からは、休館日を全館一律月曜日にするのではなく、図書館毎に曜日を変えてほしいとの要望や、開館時間を長くしてほしいとの要望等があることは承知している。開館時間を延長するには、人員配置や予算の問題があり、現在検討をしているところである。来年度11月開館予定の早良南図書館については、東図書館と同様に、指定管理制度を導入し、休館日は基本的には月1回、最終月曜日のみであり、開館時間は午前9時から午後8時までと考えている。
委 員	開館時間については、試験的に午前の開館を遅くした分午後遅くまで開館し、その後利用者からの反対が多ければもとの開館時間に戻す等柔軟な対応をしてみてもよいのではないか。
事 務 局	具体的な対応をすぐ行うのは困難であるが、今後の検討課題としていきたい。
委 員	<6 資料収集の充実> 新型コロナウイルス感染症が本を通して感染しないように、どのような対策をとっているのか。
事 務 局	日本図書館協会によるコロナウイルス感染拡大防止ガイドラインでは、返却後の資料を一定期間保管・隔離する策が紹介されている。期間は24時間、72時間等いくつか意見があるようであるが、総合図書館では、返却された本は少なくとも24時間経過後、配架している。配架までに24時間取れない場合は、本をアルコール消毒している。また、利用者には手洗いをするよう啓発を進めている。消毒機を導入している図書館もあるが、消毒機は新型コロナウイルスに対する有効性が確認されていない。
委 員	<8 課題解決型支援の充実> 行政書士による相談会等の情報提供をしたい場合、申込みの流れや周知活動はどのようにすればよいのか。
事 務 局	総合図書館としての協力の形は様々考えられるが、まずは図書サービス課図書資料

	<p>係で課題解決型支援を担当しているため、そこに相談してほしい。</p>
委員	<p><9 団体貸出先の拡大></p> <p>平成 30 年度に比較して、令和元年度中に 19 団体増加したとのことだが、増加した団体の内訳が知りたい。</p>
事務局	<p>幼稚園・保育所等を含む集会所等が 8 ヶ所、高齢者等施設が 10 ヶ所等である。</p> <p>地域コミュニティの中心である公民館に対して団体貸出の広報を行っているが、公民館が団体貸出の登録団体となるためには、貸出活動の担い手である地域のボランティア育成が必須であり、そのための講座等と合わせて、また他の地域の方の活動内容をお互いに情報共有できる仕組みをつくりつつ進めているところである。</p>
委員	<p>将来的に団体貸出先に矯正施設や医療施設等も含めてほしい。</p>
委員	<p><6 資料収集の充実></p> <p>インターネットで収集可能な情報については、総合図書館のホームページから国会図書館や福岡県立図書館の調べ方に関するサイトにリンクするよう改修されたため便利になったが、リンク先がどのような内容なのか注釈がなく分かりづらいため、説明文があればいいと思う。特に、総務省統計局のホームページは国勢調査等の統計データが充実しており、統計データに関しては、別途ボタンを作ってリンクを貼れば、福岡市で高額な統計書を購入しなくてもよくなるかもしれない。中小の大学図書館でも高額な統計書等の購入をしなくなっている。全ての資料を購入することは国会図書館でさえも不可能であり、信頼性のある公的なホームページ等の外部資源を利用するとともに、クリックすればどの内容のページに移動するのか分かりやすく表示してほしい。さらに、OPACの検索結果から外部資源のページに移動できる仕組みへ変更するなど機能を高めていければいいと思う。レファレンスだよりについては、一番古い頃のレファレンスだより非常に便利な内容が盛り込まれていたが、探しにくい状況なので、ホームページ上で調べやすくしてほしい。</p>
委員	<p>九州経済調査協会で、地域経済を分析して会員向け情報サービス「データサラダ」として公開しているので、活用してはどうかと思う。</p>
事務局	<p>ネットワーク情報資源をどのように利用者に見せていくかという視点は必要と認識している。昨年度は総合図書館ホームページを改良しており、今後ともご意見をいただきながら進めていきたい。</p>
委員	<p><8 課題解決型支援の充実></p> <p>課題解決支援には、展示と講演会等との連携展示が効率を上げることが分かっているが、蓄積した連携展示の情報を総合図書館ホームページ上で公開して情報共有できるとよいと思う。</p>
事務局	<p>連携展示のホームページ上での情報提供になると、予算関係との兼ね合いもあり、ホームページに掲載できていない。「クンドルニュース」等の紙媒体での情報提供については、ホームページ上にも公開している。</p>
委員	<p>ホームページ作成について、図書館職員ができない場合、ボランティアに協力してもらってより良いホームページになるようにすればよいのではないかと。</p>
事務局	<p>募集しているボランティアの活動内容は、本の修理や本の配架、ガーデニング等と限られており、現在のところ、ホームページ作成ができる等のスキルがあることを</p>

委員	条件とはしていない。
委員	ボランティア募集の活動内容として、広報というジャンルがあることから、それと同様にICTを追加して、そのようなスキルを持つ方の能力を活用することができたらよいと思う。
事務局	<p><11 市関連施設の図書館の相互協力></p> <p>図書館は、市議会議員や行政職員に何冊貸出をしているのか。</p> <p>市議会議員と行政職員貸出を合計して、昨年度は32冊となっている。</p>
事務局	<p><12 モデル児童図書リストの配布></p> <p>モデル児童図書リストに掲載されている本の貸出状況の統計はあるのか。</p> <p>2年程前に調査したが、労力を要するため継続して行ってはいない。2年前のデータでは、モデル児童図書に指定したことで、貸出件数が非常に伸びていた。時間がないなど自身で本を選ぶのが難しい人等にモデル児童図書リストが役立っていると思われる。</p>
事務局	<p><15 読書活動ボランティア講座の強化></p> <p>絵本の読み聞かせコースやストーリーテリングコースの講座受講者の年齢層について知りたい。</p> <p>統計資料としてあるわけではないが、比較的、子育てが終わった年齢以上の女性が多いようである。ただし、様々な年代の方が参加しており、既にボランティア活動をしている方等も講座に参加している。</p>
事務局	<p>中学生等の未成年も講座に参加しているのか。</p> <p>ボランティア講座受講に年齢制限はないが、中学生は参加していない。ボランティア講座の参加は複数回必要であり、平日に開催しているため、参加するのが困難だと考えられる。</p>
事務局	<p><13 子どもの貸出カード作成推進></p> <p>小学校近隣にある分館でイベント開催の際、子どもが来館したときに、貸出カードを作成してもらおうといいのではないかな。</p> <p>総合図書館では、小学校の図書館見学の際に、申込書を配布している。今後検討していきたい。</p>
事務局	<p>中央図書館の近くには小学校も中学校もあるため、図書館職員やボランティア等が学校へ出向き、本の紹介等を行い、貸出カード作成案内をする等の取り組みをしたらいいのではないかな。</p>
事務局	<p><18 資料展示事業></p> <p>著作権の問題もあるかと思うが、展示を観ることができなかった人のために、ホームページ上に展示物を掲載するとよいと思う。</p> <p>図書館内での展示であり、著作権等整理すべき課題もあり、ホームページ上での掲載は行っていない。</p>
委員	福岡市にも外国の方がたくさん在住しているが、アジア映画等を上映する際に、アジアの生活に密着した本の紹介や、生活の実態紹介等の図書資料の展示や文化の案

事務局	<p>内等を過去行ったことがあるのか、もしくは今後行うことが考えられるのか教えてほしい。</p> <p>シネラの上映スケジュールと図書資料の展示スケジュールのマッチングがうまくいけば、映画関連図書資料の展示も可能と考えられるが、今後検討していきたい。</p>
委員	<p><17～20 総合図書館の特色を生かした図書館></p> <p>内部評価ではB評価となっているものが多いが、19デジタルデータ化の項目はともかく、それぞれの項目で適切に活動を行っており、もっと高評価でもよいのではないか。</p>
委員 事務局	<p>デジタルデータ化については、予算確保も困難と思われる。</p> <p>これからの方向性としては、デジタルデータ化を目指すべきであるが、システムが確立されておらず、費用も嵩むこともあり、様々な問題を踏まえながら対応していきたい。そのような事情もあり、内部評価はBとしている。</p>
委員 事務局	<p><22 図書館ボランティアとの共働の推進></p> <p>今後、ボランティアの活動内容に、ネット配信やホームページ作成等の情報関係を入れて図書館運営に役立てていってはどうか。</p> <p>ホームページ等のIT関係については、様々な規制があり、どのような形でボランティアに協力してもらうかということについては今後検討したい。図書館職員の意見も聞きながら、ボランティアには様々な形で図書館運営に協力してもらいたいと思っている。</p>
委員 事務局	<p><25 情報発信の推進></p> <p>新型コロナウイルス感染症対策でなかなか来館者も伸びない中でも情報発信は可能であり、強化しても良いと思う。BIZCOLIでは、新型コロナウイルス感染防止のために座席数を減らし、そのスペースを利用して紹介したい本の展示等をしているが、その様子を利用者がSNSで発信するなどの事例もある。そのような形で外部の力も用いて情報発信していったらいいと思う。</p> <p>口コミで情報が広がっていくことも多いため、そのような方法も利用できたらよいと思うが、著作権の問題や、スマートフォン自体も図書館館内ではなるべく使用しないように啓発していることもあるため難しい。場所を限定しての利用者による情報発信を可能にする等、今後検討していきたい。</p>
委員	<p><23 職員の育成及び技術向上></p> <p>SNS等による情報発信の研修も行ってはいかがか。</p>
委員 事務局	<p><25 情報発信の推進></p> <p>現代では、本を検索すると本の表紙や目次、書評、読者のコメント等を見ることができるのが当然となっている。人的資源や予算がかかるため、図書館ですぐに実施するのは困難だが、ボランティアの協力等を得て、OPACで本の表紙等が表示できるように情報発信できれば、図書館と利用者との距離が近くなり、図書館利用者や新規登録者の減少の歯止めになるのではないか。</p> <p>図書館システム改修等が必要だが、昨年度システム改修をしたところであり、検索</p>

	<p>時に表紙等を掲載するのは、システムの容量等の問題がある可能性もあり確認してみる。また、利用者が自由にコメントを入力できるような機能は、ネタ晴らし等を入力される可能性もあるため、昨年度のシステム改修時に導入を見送った経緯がある。</p>
委員	<p>図書館独自で表紙等を見られるようにするには費用がかかるのであれば、国立情報研究所など、本の表紙や目次等を公開しているサイトにリンクを貼るような仕組みを、ボランティアの協力を得てできるのではないか。</p>
委員	<p>BIZCOLI ではシステム更新というわけではないが、紹介したい本については別途ホームページ上に紹介ページを作成している。図書館職員の本のおすすめポイント等のコメントは、利用者が本を選ぶ一つの基準になると思う。</p>
事務局	<p>表紙の引用にあたっては、出版社の許諾を得ることとしており、許諾不要となっている出版社の情報を整理しながら、図書のリスト等を作成している。モデル児童図書リストなど司書が選んで作成したリスト等については、PDF化して総合図書館ホームページ上に掲載しているが、システム上OPACとの連携はできていない。</p>
委員	<p>リストとOPACの連携は特に必要ないと考える。</p>
	<p><23 職員の育成及び技術向上></p>
委員	<p>図書館職員には、質問の内容ではなく、どういう資料があって、どうすれば調査できるのかという判断や、調査に当たって印刷媒体と電子媒体の両方から主題にアプローチができる能力が求められる。そのためには一定程度の主題知識が必要であり、自己研鑽して自身で研究・発表していくような流れを作ってほしい。図書館職員として、情報を知る、マニアックになるという仕事上の楽しみがある。</p>
	<p><5 快適な空間づくり></p>
委員	<p>現在、新型コロナウイルス感染症対策には、空間の風通しがよいことが必要である。総合図書館の「おはなしの家」等は窓を開けての換気が困難だが、対策が必要ではないか。</p>
事務局	<p>総合図書館は海辺に立地しており、建設時に外気を取入れる際の塩害対策としてフィルタを設置している。また、総合図書館はあまり窓がないつくりとなっているため、内気を強制排出する仕組みを利用して空気の循環を行っている。虫害対策もあり、窓を開放して空気を循環するのは困難である。</p>
	<p><10 地域読書活動への支援></p>
委員	<p>公民館で開催している読み聞かせ講座で、もし新型コロナウイルスに感染した場合の補償はどうなるのか。</p>
事務局	<p>スタンダード文庫読み聞かせ講座は、公民館の申し込みにより講師が出向く形式で、基本的には公民館主催であるため、保険等の詳細は把握していない。講座では、受講者同士の間隔を十分にとって接触を抑制するなどの感染症対策が重要であると考える。</p>
委員	<p>7月に公民館でおはなし会を実施した際は、対象を10か月以下、10か月から1歳半まで、1歳半以上の3回に分けた上で、受講者同士が接触しないよう、マットを敷いて受講者間の距離を開けて開催した。おおむね成功したが、10か月から1歳半の組は、絵本が見えるところや友だちがいるところに行こうと自由に動き回ったた</p>

事務局	め、今後は申込み制限等が必要ではないかと公民館には伝えたいと思っている。 総合図書館がおはなし会を試行したときは、時間を短くし、距離を置いて椅子を設置したため、ほとんど席を立つ子どもはいなかった。
委員	【総括の評価調書について】 令和元年度は利用者アンケートが実施できなかったとのことだが、利用者とのアンケート様式のやり取り程度であれば、新型コロナウイルス感染症対策をすれば実施できたのではないかと。また、紙でのやり取りが嫌な利用者のために、インターネット上でアンケートを実施することもできるのではないかと。
事務局	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月20日頃まで図書館が休館していた。毎年5月の連休に来館者が多いこともあり、その頃に利用者アンケートを実施していたため、休館時期と重なりアンケートが実施できなかった。
委員	目標数値の入館者数、個人貸出冊数、貸出利用者数、新規登録者数の減少を見ると、利用者アンケートの結果は、ヘビーユーザーが回答した良い内容になっているのではないかと。利用者が減っている理由については、図書館を利用しない人も対象とした市政調査で調査すべきではないかと。
委員	利用者が満足するということが重要な指標であると思うため、それと利用者の増減とは分けて考えてもいいと思う。
委員	個人貸出冊数は一つの指標ではあるが、来館しても本を借りずに調べるだけの人もいるのではないかと。
事務局	その場合は、入館者数が指標となるが、入館者数についても平成30年度以前については、装置の不具合が判明したため非表示となっている。
委員	BIZCOLIでも、現在は新型コロナウイルス関係で入館者が半減しているが、それ以前では、毎年10%程度増加していた。入館者が増えることは重要な指標であるため、そのためにもやはり情報発信が重要であると考えます。
委員	ニューヨークの地下鉄では、車内にバーチャル書架があって、人を探知すると自動的に本が開き、数ページ読め、続きは図書館へという取り組みを実験的に行っていた。そのような来館してもらうための呼び水ができるといいと思う。
委員	来館してもらうためには情報発信が必要であり、そのためにもデジタル関係をフル活用すべきである。場合によっては、デジタルで完結するレファレンスも必要であり、「データサラダ」でもレファレンスにて問い合わせが多いような項目のデータを掲載している。

(2) 令和元年度新ビジョン事業計画の外部評価の提出について

4. 閉会

部長挨拶／事務連絡

*1～25は事業計画一覧表の事業内容